## 実施計画・事務事業評価共通調書 記入日 平成26年3月31日 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 所属部課名 学務課稲田幼稚園 評価区分 事務事業性質 政策的事業 後期基本計 所管省庁 助 事務事業名 画重点視点 稲田幼稚園保育事業 重要事務事業 市単独 評価事業 畄 総合計画実施計画 独 新規·継続 5 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり [教育・文化] 政策 継続 政 総 区 補助率 小政策 次代を担う子どもを育みます 開始年度 終了年度 策 合 計 体 施策 幼児教育 期 単年度繰り返し 共催者·関係団体 継続実施 画 系 小施策 幼児教育・保育体制の整備 1 間 款 細目名 関連計画 会計 項 学校教育法 算 幼稚園費 幼稚園費 幼稚園運営事業 一般 教育費 根拠法令 幼稚園教育要領 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 直営 【事務事業の全体概要及び背景】2【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4【事業費の内容(決算額)】 幼児一人一人が 地域の特性や幼児の実態を基に、いろ ・各年齢・クラスの実態を踏まえた短期の指導計画の作成 消耗品費 68,000円 いろな人・物・自然と触れ合う体験を通し 自己を発揮して、 ・幼児一人一人に応じた日々の保育指導 報償費 57,000円 て、幼児期における道徳性の芽生え培う ・身近な自然や行事を通した体験活動 楽しく園生活をお 預かり保育事業費 115,000 など豊かな心の育成を図る。 ・保育に対する反省と評価 くる。 Щ ・預かり保育を実施 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 同上 同上 同ト 事務事業の目的と手段 単位 4 全園児 ①対象 対象 全園児 (働きかける相手・もの) 目 指標 的 % 行事を通して幼児の成長が (5) ②事務事業の意図(どのようにしたい 身近な自然や行事を通した体験活動をする中で、豊 成果 見られたと思う保護者の割合 のか。どういう状態にしたいのか) かな心を育む。 指標 保育日数 Н (6) 行事への参加く運動会・発表会・遠足・もち 各種行事 口 ③目的を達成するために実際に 活動 段 つき・園外保育等) 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施 事業費及び指標の推移 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画) 事業費 千円 国庫支出金 財 県支出金 千円 源 事 地方債 千円 内 業 コ その他 千円 訳 費 ス 一般財源 千円 179 240 151 285 245 245 245 千円 事業費計(ア) 179 240 245 151 28! 245 245 イ 2,475 2,475 職員割合 千円 2,475 2,475 0.330 2,475 2,475 2,475 0.33 0.33 0.33 0.330 0.330 0.330 時間外 千円 103 57 71 71 71 60 48 件 嘱託臨時 千円 5,481 5,835 6,046 6,980 8,114 8,114 8,114 ッ 費 他課の協力分 千円 人件費計(イ) 千円 9,503 8,059 8,367 8,581 10,660 10,660 10,660 トータルコスト(ア)+(イ) 千円 8,210 8,546 8,866 9,743 10,905 10,905 10,905 指標区分 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 保育日数 日 193 193 195 195 195 195 195 活 17 各種行事 口 17 17 16 17 17 17 動 指 標 対 全園児 人 73 73 63 52 53 53 53 象 指 成 79 82 行事を通して幼児の成長が % 74 78 85 82 82 果 見られたと思う保護者の割合 指

社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

平成24年12月より、核家族や保護者の就業形態の多様化に対応した子育て支援を目的として、笠間幼稚園・稲田幼稚園において預かり保育を実施した。 公立保育所・幼稚園整備基本計画の策定 平成26年2月幼保連携型認定こども園について保護者説明会を実施

CHECK)	事務事業の	一次評価
--------	-------	------

	HECK』事務事業の一次評価	
必要性		の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
女性評価	☑ 適切である □ 見直しの余地がある	幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。
有効	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどう ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や作	であったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》 也の施策への波及効果があるか?》
/性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>	地域の方々の協力を得て、絵本の読み聞かせやお年寄りとの交流会・地域の自然に触れるなど、体験活動を通じて幼児の豊かな心が育っている。
効率		を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》 削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性評価	☑ 削減の余地がない □ 削減の余地がある	一人一人に応じた指導や様々な体験活動は、幼児の発達に適した教育内容である。
— <i>?</i>	欠評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
	必要性       ② 適切       見直しの余地がある         有効性       ② 適切       見直しの余地がある         効率性       ② 適切       見直しの余地がある	地域の特性を生かした体験活動は、幼児の豊かな心の育成につながる大切な活動である。
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロ	ューアップ 前年度の課題や問題点 その他
(1) <u>1</u>	改革・改善案 ③前	### (中央の改革・改善案)    中度の改革・改善案

【PLAN】事務事業の計画	刯	
---------------	---	--

			評価理由
総合評価	今後の方向性		様々な体験を通して生きる力の基礎を培うことは、幼児にとって必要な 教育である。今後も継続実施していく。
₩○ □ FT  Щ	資源配分	現 状 維 持	

		計画・事 】事務事業	務事業評		<b>鱼調書</b> 事務事業	*釆巳	2							記入所属部		平成20		
1 L	AT N	<b>】</b>	マン町 四		<b>ザ</b> かザオ	で田ケ	評価	マ 分	事務事	事業性質	T I	(策的事	業	後期基本			<b>听管</b> ?	
-	事務	5事業名	幼児教育研	开修事務	ç Î					事務事業		— ()(h) <del>1</del>		画重点視	[点 ] 財	J		3/1
							評価	事業		<b>画実施計</b>		_			単独	市単独		
総	政	政策	5 人が輝き、				づくり〔教育	ず・文化〕		1・継続		継続			区		ŧ.	
合	策	小政策			もを育みる	ます			事業	開始年度	. ;	終了年月	变		分			
	体	施策	1 幼児教							继続実施	i 単名	正度繰り	返	共催者・関	係団仂	k		
	系	小施策		本験活動	か充実				間 "					八座日 区	1 NVEZ IT			
子		会計	款	,	項	/ /	1/10円書		細目			関連計画		\L.   -  -  +1  -  -	u. // r	// I <del>II</del> I <del> </del>	ਜਵੇਂ ਨਿਵ <u>ੇਂ</u>	
第		一般	教育費	, 7	力稚園費	幼	稚園費	3	幼稚園選	[宮事業	. ,	根拠法名	-	学校教育				金の有無
F	ት ፤											実施引直営		(相以	金の有	無	貝担団	受り 有悪
		な車業の	全体概要及び	[基北]	9 <b>[</b> 1195	車業計画	(十)ヶ切	出老が	行う業数	内宏及	アドチル			目標】	<u></u>	宝業豊の	内宏 (	決算額)
			力児の育成の			事業計画 怪の編制		ヨ伯が	117未代	门谷汉	0、十顺			女育要領		* <del>未</del> 負い 14, 000		(人异识)】
			言実に努める			単計画の								指導計	/// 貝	14, 000	) 1	
		資質向上				究会の参		能と情幸	吸共有	化				保育を行				
					•園内研	修						うと	ともに	、教師の				
					・幼小交	流活動								高めるた				
														の充実				
				ŀ		口元重	業計画				口97重	業計画	図る。			H28事業	台計画	
					上記に同		未可四		上言	己に同じ		未可四		F.	記に同		三田	
					1. HO ( C )	, 0			1.11	1(0)10					HD(-)-3			
	±- ₹/	本本半の口	44.1 T CH.															27.17
5 -	争移	8事業の目	的と手段									北ム三人						単位
		付象			教諭						④ 対象	教諭						人
目	(働	きかける相	手・もの)		<b></b>						対象 指標							
4/1				_							<u>5</u>	研修・7	研究会	:・講演会	延参加	人数		人
•			意図(どのよう)		指導の工夫と改善に努める。						成果	19119	<i>7</i> 1 <i>7</i> L Z	тиха	Z= 2 73F			
	0)/)	*。 とりいりも	犬態にしたいの	)/)3)							指標							
											6	研修会		会				口
手	(3)	目的を達成	えするために			ff究会に参	:加	内研修	幼小	交流	活動	園内研						口
			動(サービス		活動						指標	幼小交	流活	動			_	口
		事務事業の																
事第	<b>美</b> 費	及び指標																
		事業費	<b></b>	単位	22年	度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年	度(計画)	27年月	度(計画)	28年	度(計画)
		玉	庫支出金	千円														
Let.		財	支出金	千円														
投入	事	源	· <u>〉山业</u> 地方債	千円									1					
八一	業費	内											<del>                                     </del>		-		1	
コス	費	H/ \	その他	千円														
ト		_	一般財源	千円		13		47		18		14		23		43		43
_		事業	貴計(ア)	千円		13		47		18		14		23		43		43
イ			]割合	人一千		3,300	0.44	3,300	0.44	3,300	0.335	2,513	0 44	0 3.300	0.440	_	_	0 3,300
ン			:間外	千円		0,000	0.11	0,000	0.11	0,000	0.000	2,010	0.11	0,000	0.110	0,000	0.11	0,000
プ	人		<u> </u>															
ツ	件		<b></b>	千円														
F	費	他課	の協力分	千円														
$\overline{}$		人件?	費計(イ)	千円		3,300		3,300		3,300		2,513		3,300		3,300		3,300
-	<u> </u>		(r) + (1)	千円		3,313		3,347		3,318		2,527		3,323		3,343		3,343
	<u> </u>								9.4年度		9万年 由						_	
	7*** *	指標区		単位	. 22年	度(実績)			24年度	-	20年度			度(目標)		度(目標)	_	度(目標)
(rh L		多会·研究	会	口		12		16		18		15		16		16		16
動	園口	勺研修		口		11		11		11		11	I	11		11		11
指	幼儿	小交流活動		口		8		7		6		5		7		7		7
標																	1	
<b>∤</b> ∤	教記			I		7		7		7		0	$\vdash$	8		8		8
ター	叙言	ĦIJ		人		- (				7		8	-	8	1	8		8
象指																		
標									]	ſ			1		1		1	
成	研修	·研究会·講	寅会延参加人数	人		17		21		29		30		23		23		23
果指				1														
指													1					
標									I				I		1		1	

	会情勢の変化・市民ニーズの把握									
事	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及で	び社会環境	竟の変化(開始時期又は5年前との)	七較)・市民からの意見や要望》						
[C	HECK】事務事業の一次評価									
必要				?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》						
女性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>		教育内容の充実のために研修はよ	<b>必要である。</b>						
有効	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比 ④成果の波及効果《全市民, または多くの			更なる成果向上ができるか?》						
%性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>		研修・研究会に参加したり、教師間た。	引で研修内容を共有することで専門性を高めることができ						
効率	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずん ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに			見直し,市民の協力など)》 直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》						
-性評価	<ul><li>☑ 削減の余地がない</li><li>□ 削減の余地がある</li></ul>			幼稚園から小学校へスムーズな就学のために幼小交流活動は必要である。 今年度は保育所も一緒に幼・保・小交流活動ができた。						
—}	y評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)							
	<ul><li>必要性</li><li>図 適切</li><li>見直しの余:</li><li>有効性</li><li>図 適切</li><li>見直しの余:</li><li>効率性</li><li>図 回り</li><li>見直しの余:</li></ul>	地がある	幼児一人一人の特性に応じた指導の充実のために、教師の専門性を高めることは大切である。							
[ A	CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他						
	改革・改善案		度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策						
				<ul><li>☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される</li><li>□ 代替案や対策を採ることで対応できる</li><li>職員の研修等がなくなると、資質の維持・向上ができなくなる。</li></ul>						
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)						
	改革・改善案を実現する上で克服するべ 果題と解決方法	<b>④</b> 取組	1状況	☑ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)						
				名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している						
		<u> </u>								

【PLAN】事務事業	の計画		
			評価理由
	今後の方向性	現行どおり継続	教育内容の充実の為の研修は必要である。今後も継続実施していく。
総合評価			
称 一計 川			
	資源配分	現 状 維 持	

			<b>務事業評</b>				. 🗆	0							_	記入			平成26 学務課		
[PL	JAN	】事務事業	の計画		争務	等業番	アグ	3	五区分	<b>重</b> 怒	事業性質	雪	砂窑的	的事業		所属部 別基本	_	甫		旧田 近管省	
	事務	事業名	稲田幼稚園	園PTA事	業						事務事業	_	- XX	—		直点視	占具	助 🗖		ЛЬЕ	1/1
	• •	, , , , , ,	1101 . 24122	,,	/14			評価	<b>西事業</b>		画実施計		_	_			<u>1</u>	単山	市単独		
総	政	政策	5 人が輝き、	豊かな文化	ヒを創	造・発信 <sup>・</sup>	するまち・	づくり〔教	で育・文化〕		見•継続		継	続					甫助率		
合	策	小政策	1 次代を打		もを育	育みます	_			事業	開始年度	子	終了	年度				一 1	用助学		
	体系	施策	1 幼児教		_ \_	1 11.				期	<b>迷続実</b> 旅	1 単	年度	繰り返し	共催	者•関	係団	体			
画_		小施策	3 保護者	・地域と6						間		_ '			) ( JE		771.				
う		会計	款		項	Į		目		細目	1名			計画 法令							
手术	平 斗													施手法		補助	金ので	与细	: 【	拍名	:の有無
E														直営		1111-52	75.42	1 7//	`	- -	
1	事	務事業の全	全体概要及び	『背景』	2 [	H25事	業計画	(主に打	旦当者が	行う業務	的容及	び手		3【年	度目標	票】	4 [	事業	美費のP	内容(	決算額)】
		と幼稚園が 成長を図る	協力して、終	効児の	•役	庭教育な 員会・委 種行事・	員会の	開催	םל					幼児の 成長の 護者・	つためり	こ、保					
					•保記	護者と連	直携をし	て健や	かな幼り	児の育成	Ż			した活	動を行	う。					
				}			H26事	<b>坐</b> 計画				H27頁	1 学 3	  -画i			<u> </u>	Ыʻ	28事業	計画	
				ŀ	同上		1120尹	木川凹		同_	Ŀ.	1141号	子禾百	i illi		同.	Ŀ.	114	ひず未	四四	
5	事務	事業の目	的と手段	I.												ı					単位
	⊕ †	対象										4	保	獲者							人
П		きかける相	手・もの)		保護	者						対象									
目的												指標 ⑤		<b> 全教育</b>	学级新	(会加	人米ケ				人
	②事	務事業の意	意図(どのよう)	こしたい				そのため	に、家庭	と連携して	た子育	成果		<u> </u>	于WX		八郊				八
	0273	らとりいり払	態にしたいの	(2)(3)	(文:	援を行う	0					指標									
т.					حد جار	- <del>-   -   -   -   -   -   -   -   -   -</del>	ian 1		<b>ポ.ロ ^</b>	/	4	<b>6</b> )		<u> 庭教育</u>							旦
手段			するために気	夫际(し	豕廷 加	教育学	<b>效</b> 1	<b>设員会</b> •	委貝会	行爭	への参	活動	/二:	<u>員会・</u>	<del>译貝会</del> 会加						□ □
17	行:	た行政活	動(サービス	.)	/ <b>V</b> F							指標	11.	<del>-</del> 10/2	<i>/</i> ///II						
9																					
事業	<b></b> と 費	及び指標の	り推移																		
		事業費	<b>,</b>	単位		22年度	(実績)	23年度	ま(実績)	24年度	(実績)	25年月	度(実	績) 26	年度(	計画)	27年	度(	計画)	28年	度(計画)
		国质	<b>車支出金</b>	千円																	
тп.		財県	支出金	千円																	
投入	事業	源	也方債	千円																	
ハコ	業	M L	<u> </u>	千円																	
ス	費	н/ \	般財源	千円																	
1			    計(ア)	千円			0		0		0			0		0			0		0
~ イ			割合	人 千		0.26		0.26			_	0.005	1	600	260		0.96	0		0.06	_
ン						0.26	1,950	0.26	1,950	0.26	1,950	0.225	1,	688 0.	20U	1,900	0.26	U	1,950	0.20	0 1,950
プ	人		間外	千円																	
ツ	件費		<b>上臨時</b>	千円																	
<u>۱</u>	頁		協力分	千円																	
_			計(イ)	千円			1,950		1,950		1,950		1,	688		1,950			1,950		1,950
	<b>}</b> -	ータルコスト	(ア)+(イ)	千円			1,950		1,950		1,950			688		1,950			1,950		1,950
		指標区	分 —	単位		22年度	(実績)	23年度	度(実績)	24年度	(実績)	25年月	度(実	績) 26	年度(	目標)	27年	度(	目標)	28年	度(目標)
舌	家庭	医教育学級		口			4		3		3			3		3			3		3
動	役員	会•委員会	会	口			6		6		6			6		6			6		6
指	行马	事への参加		□			10		9		9			9		9			9		9
標																					
対	保証	 雙者		人			70		64		58			51		52			52		52
象指	F (* H)	~ -					.,					51				52			- 52		
指揮																	+ +				
標成	安尼	2.数去学红	延参加人数	人			138		140		146			132		130			130		130
果	<b>冰</b> 及	上叙月子秘	<b>严</b> 沙川八剱	八			198		140		140			104		130			130		130
果指で																					
標								I		1							1				

社	会情勢の変化・市民ニーズの把握										
	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及で	び社会環境	色の変化(開始時期又は5年前との)	比較)・市民からの意見や要望》							
符	になし										
[C	HECK】事務事業の一次評価										
		て, 行政の(	範囲は行政の役割から見て適切か	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当	当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつ	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》							
必要性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>		幼児一人一人の望ましい発達を仮 である。	としていくためには、家庭と幼稚園との十分な連携が必要							
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比	べてどうで	L あったか?工夫をすることで今後.	更なる成果向上ができるか?》							
有効	④成果の波及効果《全市民, または多くの										
性評	☑ 向上の余地がない										
評価			行事参加や情報交換の機会などを	を通して、幼稚園教育の理解を得ることができた。							
Щ	□ 向上の余地がある										
幼	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げず》										
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに	人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見  	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》							
性評	☑ 削減の余地がない		DTA 処具、委員が由されるM 国は物力1 マに事体の実際がつり、ずににこれできた。								
価	<ul><li>□ 削減の余地がある</li></ul>		PTA役員・委員が中心となり、園と協力して行事等の運営がスムーズに行うことができた。								
<u> </u>			全体総括(振り返り, 反省点)								
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余:	Hhがなて	工作和明白(版/元27) 人名加/								
			行事を行うことで幼児と保護者が角	虫れ合うことができ、幼稚園の理解にもつながった。また、							
	有効性 🗹 適切 🗌 見直しの余:	地がある	保護者同士の交流がもたれ、子育 きた。	ての意識を高めることができたので、目標は概ね達成で							
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余:	地がある	C7C0								
ľΔ	CTION】事務事業の改革・改善	フナロ・	- -アップ 前年度の課題や問題点	その他							
	改革・改善案		度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響							
	9,7 9,6 A		人。公本 公日木	の有無とその対策							
				☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される							
				□ 代替案や対策を採ることで対応できる							
				PTAの協力がなくては行事等の運営は難しく、また、 家庭と幼稚園の連携がなくなると、幼児の健やかな							
				成長に支障がでる。							
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動							
				も含む)							
	改革・改善案を実現する上で克服するべ	<b>⊕</b> HTV ×E	■ ☑ 他に手段がない 〕取組状況								
き記	果題と解決方法		-y\\u								
1				■ 名称 ■							

【PLAN】事務事業(	20計画		
総合評価	今後の方向性		評価理由 幼児の健やかな成長のために、家庭・地域と連携した活発なPTA活動 が必要である。今後も継続実施していく。
松公口 叶川川	資源配分	現 状 維 持	

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

実	施	計画•事	務事業評	価共通	重調	書									記	八日	1	平成26	6年3〕	月31日
[PL	LAN	】事務事業	の計画		事務	5事業	番号	4								部課		学務課		
	± ₹/	<del></del>	UL (4) 0 ±	·\+ + \\				評価	区分		事務事業性 1		<b>汝策的</b> 事	業	後期基			j	<b>听管</b>	首庁
	争彦	多事業名	地域との交	流争業				評価	事業		重要事務事 合計画実施記				画重点	、倪月	単独	市単独		
終	政	政策	5 人が輝き、	豊かな文化	化を創造・発信するまちて		づくり「教育・文化〕			新規•継続		継続					1491 -			
合	策		1 次代を打						11 - 11=2	事	開始年月		終了年	度			一 区	補助率		
計	体	施策	1 幼児教							業期	継続実施	<b>新 崩</b>	年度繰り	)护]	土催者	• 関 <i>f</i>	玄団休			
	系	小施策	3 保護者	・地域と(				H		間		E +			八年.日	IZI I	小山什			
う		会計	款		項	Į		目			細目名		関連計根拠法							
矛													実施		相	助有	をの有	無 1	自相名	金の有無
	i												直		- "	11-54 71	— ~ -> 11 )	/m >	. < 1 7	
1	事	務事業の全	全体概要及び	『背景』	2 [	H25事	業計画	(主に担	当者が	行う	業務内容及	び手			度目標】	4	4 【事	業費の	内容(	(決算額)
			ランティアな								ラス委員)の				読み聞	か				
			れ合いを通り は協力を図り					会(昔遊	び・ゲー	-卜ボ	ール・老人	施設」		(年9	回) まとの交	法				
		動の理解へ な心を育む		、刈児			』 ·野球教	室の実	施					≞又⋷ (年2		7元				
, , 5	Z/V	. 4.0 5 H B	• 0		/ /	<i>,</i> , <b>,</b>	27 7017	王•• 八	9E						一教室					
													(左	F2回	)					
							口の6重	業計画				L1971	         				I	128事業	計画	î
					同上	-	П20→	未可四			同上	ΠΔ/≒	未可四			同上		140 尹未	四一百分	
					1. 3	•					1. 4					1. 3.1	•			
5 :	事彩	8事業の目6	的と手段																	単位
		対象	1,50 7 1,2									4	全園児	į						人
П		og きかける相	手・キぃの)		全園	児						対象								
目的			·			指標							ナナレ	のな法	<u></u>				口	
					絵本の読み聞かせや交流会などで、様々な人とかわり豊かな心を育す。						な人とかか	成果			は聞かせ					回
	0)7	ら。とりいり状	:態にしたいの	(50%)	わり豆かな心を目む。							指標	サッカ	一教	室					口
1						m to		Leaded 1		ι. <b>Δ</b>		<b>6</b>			の交流					回
<b>手</b> 段			するために	天除に		:の読み カー教:	.聞かせ 幸	高齢者	<b>針との交</b> 続	<b>元</b> 会		活動	.1L _b		*聞かせ タ	•				旦旦
权	行	った行政活	動(サービス	(.)	, , , ,	W 4A3	_					指標	9 2 2	叙	<u> </u>					<u>  H</u>
D	0] [	事務事業の	実施																	
事業	<b></b> 業費	及び指標の	り推移																	
		事業費	<b>,</b>	単位	Ĩ.	22年度	(実績)	23年度	(実績)	245	年度(実績)	25年月	度(実績)	26年	F度(計i	画)	27年度	(計画)	28年	度(計画)
		国国	<b>車支出金</b>	千円	]															
<b>4</b> п.		財県	支出金	千円	]															
投入	事	源	也方債	千円																
ハコ	業典		<u> </u>	千円										1		+				
ス	費	H/ \	·般財源	千円										-		-				
<b> </b>			計(ア)	千円			0		0		0		(	)		0		0		0
7			割合	_		0.18	1,350		1,350	0.		0 100	`		80 1 6	ŭ	0.180	1,350		
シ			間分 間外	人 千 千円		0.10	1,550	0.10	1,550	υ.	1,000	0.100	1,550	0.1	00 1,0	000	0.100	1,550	0.10	1,330
プ	人													-						
ツ	件費		<b>上</b> 臨時	千円										-		_				
7	貝		協力分	千円																
			貴計(イ)	千円			1,350		1,350		1,350		1,350	4		350		1,350		1,350
	<b>}-</b>	ータルコスト		千円			1,350		1,350		1,350		1,350			350		1,350		1,350
		指標区分	分	単位	<u> </u>	22年度	(実績)	23年度	(実績)	244	年度(実績)	25年月	度(実績)	26 <sup>4</sup>	∓度(目標	標) :	27年度	(目標)	28年	E度(目標)
浜	地地	或の方とのマ	交流会	口			8		8		8		8	3		8		8		8
動	絵	本の読み聞	かせ	口			4		6		9		8	3		8		8		8
指	サッ	カー教室		口			1		1		2		2	2		2		2		2
標																				
対	全[	園児		人			73		73		63		53	3		53		53		53
象指	,			, ,												+				
指標														$\mathbf{I}$		-				
標成	+44+	或の方とのろ	<b></b>	回			8		8		9		8	2		8		8		C
楽果		戦の方との。 本の読み聞		回					6		9		8	4		8		8	_	8
扫			N 4. 6				4													8
標	アン	ノカー教室		口			1		1		2		2	4		2		2		2

	会情勢の変化・市民ニーズの把握										
	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社 になし	上会環境	境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》								
[(	EHECK】事務事業の一次評価										
业			の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》								
要性評価	☑ 適切である	E ( E F)	り(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》 地域の高齢者や祖父母、ボランティアグループとの温かな触れ合いを通して、豊かな心が 育っているので交流の機会は必要である。								
_	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうであったか?工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか?》										
有效性	④成果の波及効果《全市民,または多くの市」	民や他の	の施策への波及効果があるか?》								
評価			様々な人とかかわることは感動体験や社会性を育むよい機会であるので有効である。								
玅	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》										
率性		‡費を削	削減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》								
評価	<ul><li>☑ 削減の余地がない</li><li>□ 削減の余地がある</li></ul>		地域の方や祖父母と交流する中で様々な人とのかかわりを学び、いろいろな経験を積み重ねることで、豊かな心を育むことができた。また、地域の方の幼稚園理解を深めることができた。								
	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)								
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地が	がある									
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地が	がある	地域の様々な人と交流を通して豊かな心を育むとともに、幼稚園を理解してもらうことができたので、目標は達成できた。								
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地が	がある									
[A	CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他								
1	改革•改善案	③前年	手度の改革・改善案								
			<ul><li>☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される</li><li>□ 代替案や対策を採ることで対応できる</li></ul>								
			地域の方との交流がなくなると、幼児の豊かな心の発達や、開かれた幼稚園づくりに支障がでる。								
			⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)								
	改革・改善案を実現する上で克服するべ 課題と解決方法	<b>④</b> 取組	団 他に手段がない 世代 他に手段がある(事務事業名・活動名) 世代 世代 手段がある(事務事業名・活動名) 世代 世代 手段がある(事務事業名・活動名) 世代								

【PLAN】事務事業(	の計画		
<b>公人</b> 范/元	今後の方向性		評価理由 園児にとって豊かな心を育むために、地域の方や保護者との交流は必要であり、幼稚園を理解してもらう大切な機会でもあるので、継続が望ま
総合評価	資源配分	現状維持	しい。

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

天	他i	計画・争	務事業評	恤夹地	目調書									記入	B	平成26	5年3月	31日
<b>【</b> PI	LAN	】事務事業	の計画		事務事業	番号	5							所属部		学務課		
							評価	区分		事業性質		持管理等		後期基本			听管省	庁
	事務事業名  保健安全管理事業				評価	事業		事務事業				画重点視点		市単独				
(4)	1	<b>エレ</b> たた	F 1.3% Max 26.	th 2.2.4.1	1.2 AUA 70 E	1- 7 1- 1- 1-				画実施計		<u></u>			単独			
総合	政策	政策 小政策	5 人が輝き、1 次代を		とを創造・発信しを育みます		つくりし教育	了•又化」		見・継続 開始年度		継続終了年月	r F		区	補助率		
百計	<b>水</b> 体	施策	1 幼児教		ひて月かよ	9			業			-			分			-
画					· 东塞			期制制	迷続実施	車単	年度繰り	返し	共催者・関	係団体				
n,	7	会計	款	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	項		目		細目	名		関連計画	亘					
	<i>,</i> 算	一般	教育費	药	力稚園費	幼	稚園費	,	幼稚園道		É	根拠法令						
禾		一般	教育費		力稚園費	幼	稚園費	幼	准園施設	设管理事	業	実施手		補助	金の有	無	負担金	の有無
												直営					_	_
1	[事	務事業の全	と体概要及び	『背景』										[目標]				央算額)
			建康管理や、育環境を整備		<ul><li>保健安全</li><li>施設・遊り</li></ul>			管埋マ	ニュアル	の作成		女3  同)		倹(月1	消耗費医療材		05,000 80,000	
て <sub>ラ</sub> る。	たし、	、庭、心体	月塚児で宝川	用り	· 保健衛生									東(9回)	修繕費		35, 000	
00					•環境整備									官(隔月)	12/112	` -	, , , ,	. 1 4
					•放射線量	の測定	実施					放射	射能测	則定(週1				
												回)	)					
				ŀ		口96車	業計画				日97国	事業計画				H28事業	計画	
1					同上	11207	<u> 米田岡</u>				11213	未可凹				1120 尹 未		
l																		
_	中型	事業の目	<b></b>	L														単位
5			可と 十段								4	全園児						人
		対象	T 2 m		全園児						対象							
目	(働	きかける相	手・もの)							指標								
的	②I		意図(どのよう)	こしたい							5	怪我の	発生	件数				件
			態にしたいの		園児の健康	と安全を	確保する	00			成果							
											指標		'姶					口
手		7464744	. ユマチュレ ) マド	+- 17/4∀ )	安全点検〈)	月1回)	避難訓	棟 交	⑥     安全点検       適安全教室     近期									回
段	(3) 行。	目的を達放 った行政活	するために 動(サービス	表除に )	身体測定	内科検	診 歯科	検診			活動 指標	かまける		体測定				□
				,							111.01							
		事務事業の																
事	<b>業費</b>	及び指標の																
		事業費	-	単位		(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年月	度(実績)	26年	度(計画)	27年度	度(計画)	28年月	隻(計画)
			車支出金	千円														
投		財児	支出金	千円														
投入	事	源 内	地方債	千円														
コ	業費	P1	その他	千円									l					
ス	頁	H/ \	·般財源	千円		421		344		352		260		260		260		260
7			表計(ア)	千円		421		344		352		260		260		260		260
7			割合	人		2,700	0.36	2,700	0.36	2,700	0 360		0.26		0.360		0.360	_
ン						4,700	0.30	2,700	0.00	4,100	0.300	2,700	0.30	2,100	0.300	2,700	0.300	2,700
プ	人		間外	千円														
ツ	件費		- 佐藤時	千円														
<u>۲</u>	(其)		協力分	千円														
)		人件	貴計(イ)	千円		2,700		2,700		2,700		2,700		2,700		2,700		2,700
	<b>}-</b>	ータルコスト(ア)+(イ) 千円		3,121		3,044			3,052		2,960		2,960		2,960		2,960	
		指標区	分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年月	度(実績)	26年	度(目標)	27年度	度(目標)	28年月	度(目標)
江	安全	全点検		口		12		12		12		12		12		12		12
活動		難訓練		□		8		9		9		9		9		9		9
指		表診断・身(	 休測定	□		7		7		7		7		7		7		7
標	V-1.	2-H2 H31 201	11/1/VE	<u> </u>								· ·						
対		到旧		1		70		70		CO		F0		FO		Γ0		
ハ象	王国	園児 一		人		73	-	73		63		53		53		53		53
象指																		
標																		
成田	怪	我の発生件	-数	件		2		2		0		1		1		1		1
果指																		
標						_		_	_							_		

<u>社</u> :	会情勢の変化・市民ニーズの把握						
事		竟の変化(開始時期又は5年前との比較)·市民からの意見や要望》					
[C	HECK】事務事業の一次評価						
	①行政関与の必要性《目的達成に向けて, 行政の行	範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
必要性	②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性《目的	J(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?) 「					
性評	☑ 適切である	幼児が健康で安全な園生活を送るためには、施設設備の十分な点検・整備・幼児への安					
価	□ 見直しの余地がある	全指導が必要である。					
右		あったか?工夫をすることで今後, 更なる成果向上ができるか?》					
有效性	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	の施策への波及効果があるか?》 					
性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>	家庭や関係機関に協力してもらい安全指導を行ったことで、幼児の安全についての理解をより深めることができたので有効であった。					
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》					
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》					
性評	☑ 削減の余地がない	幼児の安全と健康を確保するために適切な事業費内容である。					
価	□ 削減の余地がある						
—}	大評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)					
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある						
	有効性 🗸 適切 🗌 見直しの余地がある	十分な施設設備の点検と整備、そして幼児の安全指導を行い、幼児の健康・安全を守ることができたので目標は達成することができた。					
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	Control of the land and the control					
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他					
		(⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響)					
		の有無とその対策					
		■ ☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される ■ □ 代替案や対策を採ることで対応できる					
		幼児の安全と保健衛生管理の確保ができなくなる。					
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)					
_	牧革・改善案を実現する上で克服するべ 果題と解決方法						
		名称					
		■ □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる ■ □ 統廃合や連携はできない・既に連携している					

【PLAN】事務事業の	の計画		
総合評価	今後の方向性		評価理由 現状での保健安全管理事業としては、適切であり次年度も継続が望ま しいと考える。
小心 口 日	資源配分	現 状 維 持	

	事務事業	<b>多事業評</b> の計画			事業番号	<u> </u>	6 <del>≅</del> ₩/ <del>≡</del>	· lo 八	7	1. 双 中 <del>14.</del> m. i	hhr I	TL-M	<u> Н</u>	- 111	記力 所属部	『課名	:	平成26 学務課	稲田:	幼稚園
事務	等業名	障害児教育	育事業					区分 事業	耳	事務事業性 (要事務事)	業	<b>哎</b> 床	的事業 一		期基z 「重点社		補助単	市単独	<b>听管</b> 名	ョ厂
/\	正是生	5 人が輝き、	曲みみかずり	レナムハル	· 水/=	(++			総合	合計画実施記 新坦、継続		4					独			
総 政 策			豊かな又も			J より~	フヘケー(教)	月,又化]	事	新規·継続 開始年月			継続 了年度				区分	補助率		
+ 体	施策	1 幼児教		7 E H .	7.6.1				業期					:1 44	155 土土 1	目伝口	-			
系	小施策		育•保育		整備				間	継続実施	地 耳		を繰り返	SU 共1	隹 <b>台・</b>	判徐心	<b>川</b> 14			
予	会計	款	,	項	allo	71.3	1//  =  =		rde el	細目名	16.		車計画	326.1	-1×1/11-					
算 科	一般	教育費	' S	力稚園9	質	幼	稚園費		草害	児教育事業	<b></b>		処法令 ξ施手剂		交教育	法 力金σ	大右4	IF A	当扣刀	の有無
11												7	直営	5	刊出马	— 7金·	//日 #	# 1	4153	<b>—</b>
	務事業の全	体概要及び	『背景』	2 (H2	25事業	計画	(主に担	1当者が	行う	業務内容及	とび手	順)			標】	4	【事	業費の	内容(	決算額)
内いに増の応じ	幼稚園、保 3・4・5歳児 らかの心配 てきている。 うな幼児に対	育所(園) に で、ことば及 や不安のあ 対して、一人 導を行う場。	在園し なび情 る幼児 一人	<ul><li>・通級</li><li>・個別の</li><li>・幼児の</li><li>・関係</li></ul>	を希望で の指導 の実態!	計画のこれでは	カ児・保 の作成。 じた指導 隽。	護者との 算を行う。	)面				個々導を行	行い、	た指 幼児の なげる。	) 消耗			0,000 0,000 38,000	円
J/U(0	が玉で灰い	) ( 1 .00	ŀ		H2	26事	業計画				H27	事業	計画				Н	[28事業	計画	,
事務	5事業の目6	的と手段																		単位
	対象	.,,,,,		++0	V.1.4.14.133	归去		· /-  国 1	生	ロル江に立	4	通	級児人	数						人
(紙)	可象 きかける相=		市内の	)幼椎園、  な幼児	休育	が(園)	(仕園し	、集	団生活に適	対象	Ŕ								·	
¦			指標											-	回					
(2)3	耳務事業の意 ゝ。どういう状			人の特性、豊かな					可能性を見	成界		小以口乡	`							
077)	・。とりいり状	態にしたいり	)/J <sup>4</sup> )	いだし、	、互いば、	八间作	土ツ育功	いこ劣める	٥°		指標	E.								
		するために 動(サービス		週1回0	の指導						⑥ 活動 指標	<del>ე</del> —	超級回数	ζ						口
	務事業の		,								111 1/2									
	及び指標の																			
,,,,,	事業費		単位	22	年度(実	[績]	23年度	(実績)	244	年度(実績)	25年	度(3	<b>実績</b> ) 2	6年度	:(計画	) 274	年度	(計画)	28年	度(計画)
		<b>直</b> 支出金	千円		1 50 (5	(1)()	1 2	. () ())()		1 30 (3 0)00		500	-	- 1 2		/	1 20	(61 1-17		<i>5</i> <b>C</b> (F1 III)
上重	財県	支出金	千円																	
7	源	也方債	千円																	
業費	P3	その他	千円																	
(其)	H/ \	般財源	千円			110		58		78			58		5	8		58		58
		計(ア)	千円			110		58		78			58		5			58		58
		割合	人 千			,000	0.80	6,000	0.	80 6,000	0.80	0 6	5,000 0	.800		0 0.8	800	6,000		_
Y		間外	千円																	
件		臨時	千円													+				
費		協力分	千円																	
		計(イ)	千円		6.	,000		6,000		6,000		e	5,000		6,00	0		6,000		6,000
<b>}-</b>	-タルコスト		千円					6,058	,			6,058		6,058						6,058
	指標区分		単位		年度(実		23年度		244	年度(実績)	25年			6年度		_	年度	(目標)		度(目標)
通統	及回数		□			410		430		430			445		43	_		430		430
1																				
i																				
通紙	及児人数		人			10		14		15			15		1	5		15		15
通網	及回数		回			410		430		430			445		43	0		430		430
Ę																				

社会情勢の変化・市民ニーズの把握							
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び 通級希望者は増加の傾向にある。	『社会環境の変化(開始時期又は5年前との	の比較)・市民からの意見や要望》					
【CHECK】事務事業の一次評価							
.Xi.		か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 ついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
性 図 適切である	市内では唯一の幼児を対象とす からも必要性は高いといえる。	る通級教室であり、毎年通級希望者の数も増えていること					
価 □ 見直しの余地がある	がかりむ必安圧は同いていえる。						
③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比っ 有 効 ④成果の波及効果《全市民, または多くの可							
性評 ② 向上の余地がない	指導計画を作成し、幼児一人一 つなげることができた。	・人の実態に応じた指導を行っているため、幼児の育ちに					
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに 効。 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに)		の見直し,市民の協力など)》 見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
性 ☑ 削減の余地がない	ことば及び情緒に何らかの心配 必要である。	ことば及び情緒に何らかの心配や不安のある幼児にとって、個別の指導が受けられる場は必要である。					
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)	全体総括(振り返り, 反省点)					
必要性 ☑ 適切 ☐ 見直しの余地 有効性 ☑ 適切 ☐ 見直しの余地 効率性 ☑ 適切 ☐ 見直しの余地	也がある ことば及び情緒に何らかの心配 導は重要な役割を果たしている	ことば及び情緒に何らかの心配や不安のある幼児にとって、さくらんぼ教室での個別の指導は重要な役割を果たしているので、目標は達成できた。					
【ACTION】事務事業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問題点	こ その他					
①改革・改善案 ②改革・改善案を実現する上で克服するべき課題と解決方法	③前年度の改革・改善案 ④取組状況	<ul> <li>⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策</li> <li>☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される         □代替案や対策を採ることで対応できる         事業を休止、廃止した場合は障害のある幼児の園生活に支障が出る。</li> <li>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)</li> <li>☑ 他に手段がない         □他に手段がある(事務事業名・活動名)</li> </ul>					
【PLAN】事務事業の計画	田行じたり継続 東民のニュ	名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している  評価理由					

	AN										
	人然の七白星	エログニーIミナメルグMVを主	評価理由								
40 A 37 /m	今後の方向性	現行どおり継続	市民のニーズが高い障害児事業は、今後も継続が望ましいと考える。								
総合評価	資源配分	現状維持									
	真1小627	シロ 小人 小田 1.1									